



大山御貫首と年頭の挨拶をされる山中御一家

この曲目の謡いを披露されました。

その後、飯縄権現堂へ場所を移して奉納舞が始まると、初詣で賑わう参拝者の方々が一斉に静まりかえり、能に見入っておりました。

奉納舞では、お目出度い曲として、「狸々」・「高砂」・「鶴亀」等の曲目が演じられました。

東京都清瀬市よりお越しの小林利蔵様は、奥さ



飯縄権現堂では奉納舞が行われる

まの三江様と参拝に訪れました。代々清瀬市にお住まいで、祖父の代から高尾山と御縁があり、小学生の頃からお父様とお山に来ていたそうです。車の車検などを手掛けるお仕事もされており、仕事柄何度か生命に関わる事故を経験されておりますが、何とか無事に過ぎており、これも幼いころからの信仰のお蔭かと話されていました。

山麓めざし、無事に下山されました。東京都品川区よりお越しの茂木茂様は、御息様とお二人でお山を訪れました。

の登山をされております。昨年までは百八段の階段(男坂)を歩いて登つたが、今年は馬道(女坂)を歩いて来たと話されていました。



今年も元気にお参りに来られた茂木茂様



有喜閣にてお屠蘇膳を頂く小林利蔵・三江夫妻

# 平成二十八年 初詣 飯縄様への熱き祈り

平成二十八年丙午歳の新春、例年より気温が高く、過しやすい気候となった高尾山には、全国から御信徒の皆様が大勢訪れ、賑わいを見せておりました。新年の特別開帳大護摩供は大山隆玄貫首大導師のもと、世界平和国土安穩、東日本大震災早期復興、家内安全、身体健全、身上安全、心願成就、その他諸願成就を祈り厳修されました。

昨年フィギュアスケートのフィンランディア杯で優勝し、グランプリシリーズ・中国杯で準優勝を果たした本郷理華さんが、祖母の則子様、母の裕子様と今年も元旦、高尾山の初詣に参拝され、新春特別開帳大護摩供修行を受けられました。理華さんにお話を伺いますと、昨年入学した中京大学には、スケートリンク



御護摩修行に参列された本郷理華選手(中央)

が併設されており、以前よりも良い環境で過ごしていると話されていました。また、今シーズンは二年後に控えた平昌オリンピック出場を目指し、良い点を伸ばし、悪い点を改めることを目標として、一戦一戦を大事に戦い、

満足できるように努めてゆきたいと話されておりました。群馬県多野郡神流町より、ご家族で参拝に訪れた黒澤啓治様は、六十年以上も元日に来山されています。昔は友人たちと一緒に総勢二十〜三十名

程で元旦一番護摩に参列し、初詣に来山されていたようですが、今では体調の面などから、元日の昼間に訪れるようにしているとのこと。黒澤様によりますと、色々な参拝の思い出がありますが、雪の大晦日に、山麓より徒歩で登山した夜のことは、特に思い出深いと話されていました。また、見知らぬ若い人と御護摩修行に参加することで元気が出ると語り、こうした御縁もまた、御本尊様により、招かれ



「御本尊様が色々な御縁を招いてくれます」と語る黒澤啓治様

ていると思ひ、来年の登山を楽しみにしておりますと、元気に話されました。東京都三鷹市からお越しの山中遊晶様は、十五年以上も正月に、飯縄権現堂(御本社)にて能の奉納舞をされています。山中さんは、観世流梅若会のシテ方として活躍されており、近年では二人のお嬢様も一緒に奉納舞をされています。大山御貫首と面会された折には、二人のお嬢様が長寿を願う「老松」と